

川合善明市長の公約「改革・公正・公開」は
全くの嘘っぱち！

川合市長は偽者だった。

（株）カナイン消防機材による
独占的連續落札は
合計38回に及んだ
これを官製談合と呼ばずして何と呼ぶのだ！

川合市長はこの官製談合問題を認識したのは、本紙作成のチラシを見た本年8月だという。その後、関係部署所属長また平成23年までの所属長に遡って聞き取り調査を行ったと云うが、庁舎内部から内部への聞き取り調査を行ったところで、身内の庇い合いが生じるだけである。仲間同士で聞き取りをしても事実を確認することなど不可能で、己の将来を投げ打つてまで「私が漏洩しました」と白状する者などいないのだ。表面上調査をしたという既成事実を作つておくための調査報告に過ぎない。この問題は外部機関が調査しなければ適切な調査とは云えないのだ。

川合市長は第6回定例会一般質問で柿田市議の質疑に「この告発は私はまともな告発とは受け取つていない。市で突つ込んだ対応をする気は全くない」と答え、傍聴席の市民や一部市議らを啞然とさせたのである

川合市長の市議の質疑に対する誠意なき態度、
ふてくされた答弁に彼には反省の色など
全くないことが判明した

市民は疑いがあるから告発したのであって、市長は公の場で弁明の義務がある。本紙がこれまでの論評記事で記しているように、川合市長は「職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと」という川越市長等政治倫理規定に従う義務がある。義憤に満ちた市民らに疑惑をもたれ告発された事実こそが、すでに市長の資格なき重大な事態であるかも川合市長は理解できていない。

私たち市民はこんな男を
川越の市長に選んだことを恥すべきだ！

この男は、後援会の有力者らに利益を誘導することによって、自らの地位を確保することだけを考えてきた。市民を無視し、裏切り、自らの功名心を満たすことのみに終始してきた川合善明、私たち川越市民はこんな男を誇りある川越市の市長に据えて恥ずかしくないのか？

川合市政が生み出した
腐敗体質を許すな！
市民の一人一人が糾弾の拳を
高く掲げよう！